

平成 14 年度秋サケ資源調査

植村 康

調査目的

青森県太平洋沿岸に來遊する秋サケ資源の來遊経路及び漁場特性を把握し、今後の秋サケ資源の適正な管理及び漁業調整施策の資料とする。

調査の内容と方法

東通村白糠から階上町の太平洋沿岸漁協所属の漁船（10 トン未満の漁船で委託期間は平成 14 年 11 月から平成 15 年 1 月まで）に試験操業を委託し、はえなわ漁法（1 操業当り 15 鉢以内、1 鉢：100m 以内で約 35 本の針が装着されている）によって図 1 に示す調査海域内でサケ分布状況・移動回遊等（標識放流）について調査を実施した。調査海域は緯度経度概ね 5 分毎に区切り、主な調査海域については番号を付した。

調査結果及び考察

平成 14 年度のはえなわ調査委託船の調査概要を表 1 に示した。実際の操業隻数は委託隻数 60 隻に対し 15 隻であった。延べ出漁日数は 46 日、延べ使用鉢数 173 鉢、総漁獲尾数 95 尾、水揚げ金額は 44,035 円であった。委託隻数は昨年より減少した。出漁隻数、延出漁日数も昨年より減少した。漁獲尾数は昨年度と同様に少なく、過去最少であった。

調査海域ごとの試験操業回数を図 2 に示した。漁獲が伴わない操業や、魚群探索を行っても魚群を確認できず投針しなかった場合も試験操業の回数に加えたが、操業海域の記入がないものは除いた。操業の全てが南部海域で実施され北部海域は皆無であった。操業回数が多い海域は、42、43、48、49、53 の 5 海域で、全体の操業回数の 82% を占めた。これは昨年とほぼ同海域であった。実際に漁獲があった海域は 32、36、42、43、48、49 の 6 海域であった。42、43、48、49 の 4 海域は操業回数の多い海域と一致するが、32、36 の 2 海域は操業回数の少ない海域で漁獲が行われ、漁期も 12 月下旬と遅く、11 月下旬から 12 月上旬に集中した漁期と外れていた。

図 3 に海域別 C P U E（一鉢当り漁獲尾数）を示した。漁獲があった 9 件のみで計算した。C P U E が 2 を超えた海域は無く、昨年と同様に低い C P U E であった。

図 4 に海域ごとの標識放流尾数を示した。12 尾放流されたが再捕報告はなかった。青森県太平洋沿岸に來遊する秋サケ資源の來遊経路を確認するための標識放流は本調査の根幹をなすものであり、現地説明会においてもその重要性を説明し、漁獲尾数の 1 割を目安に 1 人あたり 10 尾まで行うよう要請したが、秋サケの來遊が少なく、漁獲できない状況では無理であった。昭和 61 年度から平成 14 年度の 17 年間で 2,572 尾の放流で 86 尾再捕され、再捕率は 3.3% と低い。県内再捕尾数は 32 尾で全体の 37% であり、青森県内での再捕割合を増やすことが今後の課題である。

表 2 に昭和 61 年から太平洋において実施してきた秋サケはえなわ試験操業の実施状況一覧を示した。当初 7 隻で始まった試験操業は、平成 11、12 年には委託隻数 108 隻と過去最多となったが、出漁隻数は前年より減少した。平成 14 年度の委託隻数は前年より減少し、60 隻となった。出漁隻数、延べ出漁日数共に前年度より減少した。秋サケ延縄漁業の対象となる、まとまった魚群が來遊しなかったため、漁獲尾数は前年同様に過去最少となった。現在の資源状態では、秋さけ延縄漁業は経営的に成り立たないと考えられる。

表1 平成14年度試験操業概要

漁協名	委託 隻数 (隻)	出漁 隻数 (隻)	出漁期間		延出漁 日数 (日)	投針 日数	使用鉢数 (鉢)	漁獲尾数 (尾)	放流尾数 (尾)	水揚げ金額 (円)
			開始日	終了日						
白糠	5	0			0	0				
泊	9	0			0	0				
六ヶ所	1	1	12月1日	12月1日	1	0				
六ヶ所村海水	1	0			0	0				
三沢市	2	2	12月9日	12月29日	3	3	10	3	3	0
八戸鮫浦	17	9	11月21日	12月2日	22	11	94	76	8	24,410
八戸市南浜	15	2	11月26日	12月9日	6	6	60	14	2	19,625
階上	10	1	11月29日	11月30日	14	2	9	2	0	0
合計	60	15			46	22	173	95	13	44,035

表2 秋サケ延縄試験操業実施状況

年次	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年
委託隻数	7	18	38	56	64	64	101	86	94
出漁隻数	7	13	30	37	40	26	39	41	46
延べ出漁日数	81	99	411	420	172	129	477	336	252
投針日数	81	99	411	420	172	129	477	336	252
漁獲尾数	4,301	1,729	26,565	26,154	4,015	6,225	14,843	16,252	17,051
平均漁獲尾数	53.1	17.5	64.6	62.3	23.3	48.3	31.1	48.4	67.7
放流尾数	52	15	255	343	138	169	235	190	225
再捕尾数	2	5	5	6	6	12	1	2	6
再捕率	3.8	33.3	2.0	1.7	4.3	7.1	0.4	1.1	2.7
県内再捕尾数	1	1	1	5	1	6	1	0	4
(内河川再捕)	0	0	1	3	0	2	0	0	0
県外再捕尾数	1	4	4	1	5	6	0	2	2
(内河川再捕)	0	0	0	0	0	1	0	0	0

年次	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	計
委託隻数	95	86	77	81	108	108	65	60	1,208
出漁隻数	28	28	38	37	32	20	28	15	505
延べ出漁日数	78	174	263	233	128	60	81	46	3,440
投針日数	78	174	263	233	128	60	60	22	3,395
漁獲尾数	1,085	15,260	19,247	18,289	5,768	1,449	90	95	178,418
平均漁獲尾数	13.9	87.7	73.2	78.5	45.1	24.2	1.5	4.2	52.6
放流尾数	44	211	268	274	100	29	12	13	2,573
再捕尾数	1	22	12	4	2	0	0	0	86
再捕率	2.3	10.4	4.5	1.5	2.0	0.0	0.0	0.0	3.3
県内再捕尾数	1	4	5	2	0	0	0	0	32
(内河川再捕)	0	2	5	0	0	0	0	0	13
県外再捕尾数	0	18	7	2	2	0	0	0	54
(内河川再捕)	0	4	1	1	0	0	0	0	7

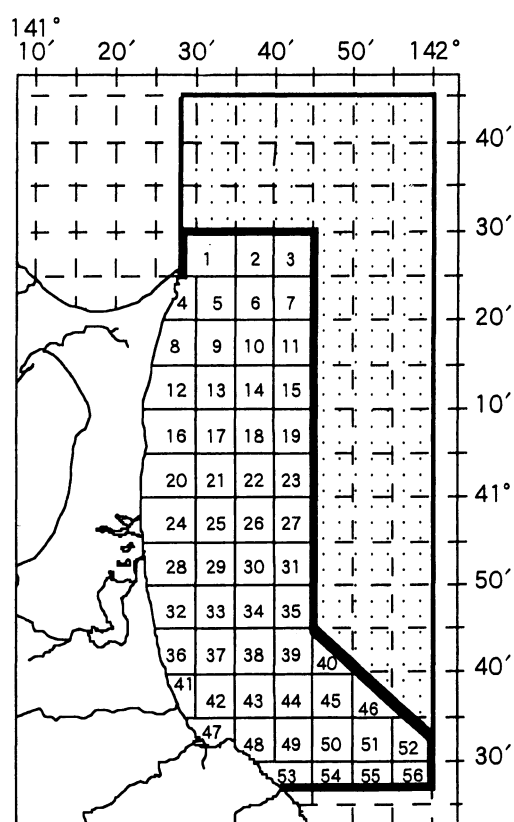


図1 試験操業海域図

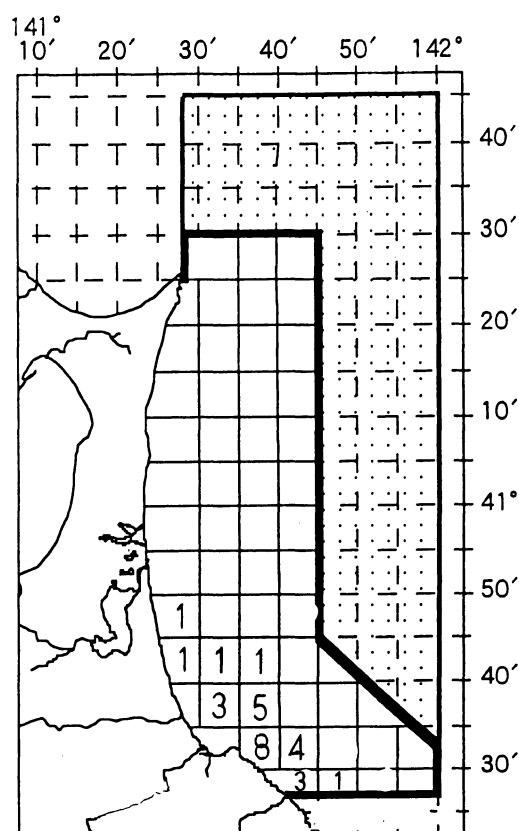


図2 海域別操業回数

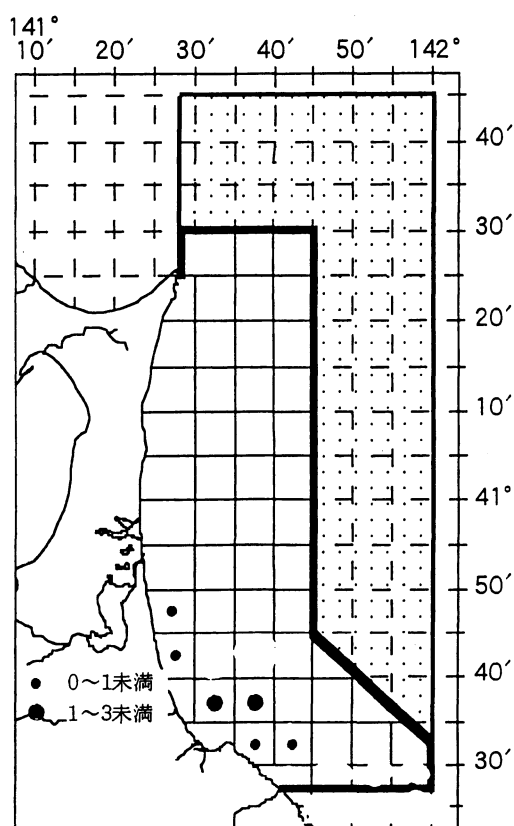


図3 海域別CPU
(一鉢あたり漁獲尾数)

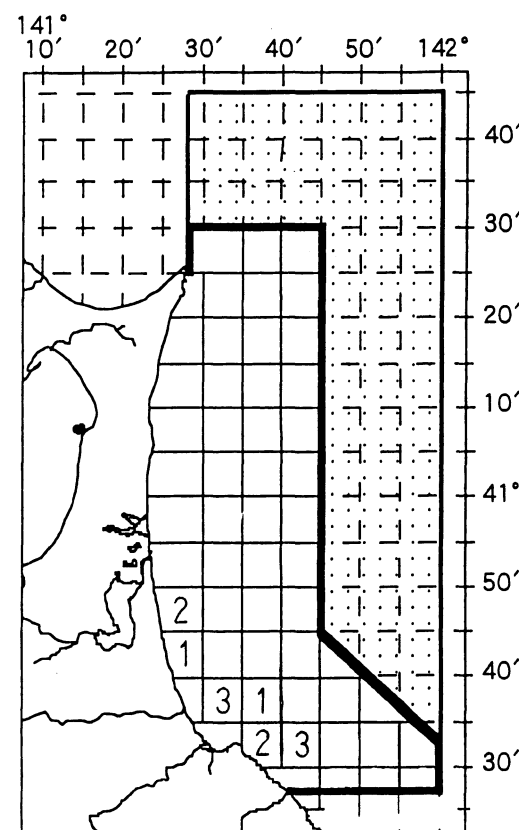


図4 海域別放流尾数